



2021年に向けて

新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆様、豪雨災害などの被害に合われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。これらの新しい感染症や災害など、私たちがこれまで過ごしてきた日常が変化していることを実感しています。

そのような中でも水泳界は、再開に向けて動き始めています。

10月には日本学生選手権水泳競技大会(通称:インカレ)が開催され、池江選手の出場に「あきらめてはられない」という大きな力をもらいました。

ジュニアや学生の大会が再開していく中、マスターズ層は感染リスクが高いあるいは広範囲の移動が心配であるとの声から再開の理解を得られないことが多く、とても残念に感じています。

2020年に当協会が公認した大会の約70%は中止となりましたが、8月には再開の声も聞かれ無事に終了したことはとてもうれしく思っています。10月以降もいくつかの公認大会が実施を予定しているとのことですので、楽しみにしています。

当協会でも「マスターズ水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を策定し、主催者や運営スタッフだけでなく参加するすべての皆様に「感染しない、させない」を徹底していただけるよう協力をお願いしています。開催された競技会から感染者を出さないということが、2021年マスターズ水泳復活に向けた大きな力になると思っています。そのためには、羽目を外しがちな大会後の打ち上げなどでも細心の注意を払って活動をしていただくことをお願いしたいと思います。

環境の変化に対応するために日ごろの生活パターンが変わってしまい、水泳が続けられないという方が多くおられることがとても残念です。当協会では2020年に活動できなかった登録者の皆様に少しでも水泳を続けていただけるよう、2021年登録の特別措置を設定いたしました。詳細は登録案内をご参照ください。

私自身も競技者として、早く皆さんと泳げる日が来ることを心待ちにしています。

当協会も様々な活動を計画してまいりますので、ご理解とたくさんのご協力をいただきたくよろしくお願いたします。

スイマー一丸となり頑張っていきましょう！

2020年10月1日

一般社団法人日本マスターズ水泳協会

会長 高橋 繁浩

